

日本地形学連合 地形の学校 2025 砂浜海岸の地形

撮影：武田一郎

日本地形学連合では、経験豊かな会員が若手会員や一般の方々も対象に、講義や実習を行っています。今年度は海岸地形をテーマとして講演会を開催します。

日時 2025年11月15日(土) 10:00-16:30

講師 武田一郎 先生

日本地形学連合元会長、京都教育大学名誉教授

方式 対面(定員50名)およびZoom(定員300名)によるハイブリッド開催

会場：京都大学宇治キャンパス 総合研究実験1号棟4階 遠隔会議室（401）

Zoomからの参加の場合、接続情報は後日ご連絡します。

参加費

申込

(11月7日(金)締切)

(会員) 学生 1,000円、一般 2,000円

(非会員) 学生 3,000円、一般 6,000円

【参加申込時に入会される場合は、会員価格で参加可能】

CPD 5.0単位（「地形の学校」は、CPD履修実績として登録可能）



撮影：武田一郎



撮影：武田一郎

【講演内容要旨】

砂浜海岸には形成と消滅を繰り返しつつ規模が小さいために地形図には表現できない地形（海底砂州、カスプ、バーム、スカーフなど）、および恒常に存在しつつ規模が大きいために地形図上に表現される地形（砂州、砂嘴、トンボロなど）とがある。これらの地形を宮力（波や沿岸流）と海浜を構成する堆積物の特色との関連で説明する。主な内容は、（1）砂浜海岸の分類、（2）波、（3）形成と消滅を繰り返す地形、（4）砂州と砂嘴の違い、である。

主催：日本地形学連合

お問い合わせ：日本地形学連合行事幹事会 (events@japangeomorphology.org)

会場担当：小暮哲也（京都大学防災研究所 地盤災害研究部門）



日本地形学連合

Japanese Geomorphological Union